

8

2003年

組合広報

NO. 440

よろこばれ 期待され 魅力ある

東京都鍍金工業組合
東京鍍金公害防止協同組合

URL <http://www.tmk.or.jp>

わたしの意見	広報委員会 座談会シリーズ 広報担当副理事長 姫野正弘	1
役員会委員会	理事長日誌、組合・関連団体行事予定	2
	組合HP “組合員専用掲示板” ご利用のお願い	3
	広報座談会 正副理事長委員会運営の抱負	4
	技能検定実技試験実施	8
	都議会公明党と懇談会	10
	草間英一氏の叙勲を祝う会	12
あなたの予定表	9月の環研・協組集荷日程ほか	
	訓練校9月授業案内	15
	平成15・16年度役員・委員会・顧問・相談役構成	16
	正副理事長、専務理事	18
	常任理事、支部長・理事、理事・監事	19
顔写真集	広報委員会、環境委員会、技能教育委員会、HP特別委員会	23
	名誉顧問・顧問・相談役	27
	部会長・青年部会長	30
	工業組合・協同組合事務局職員	31
	第6回親睦ゴルフ大会	32
ピックアップ	電機各社有害物質全廃を加速	36
	第37回上級表面処理技術講座案内、ディップソール(株)50周年祝宴	38
	訃報、亜鉛めっき部会新役員、訂正、表団協セミナー	40
支部通信	城東支部、足立支部	42
	葛飾青年部会	
	協組・環研ニュース	43
	東京都中小企業の景況	44

広報委員会 座談会シリーズ



広報担当副理事長 姫野正弘

今年度より前担当の由田副理事長の後を受けて広報担当副理事長を仰せつかりました。広報委員会には、木村委員長を始め半田副委員長、神谷副委員長、各支部の委員さんがベテラン揃いですので、安心して委員会運営をすることができます。

今年は冷夏ということで比較的過ごしやすい日々が続いていますが、夏場の産業はひどい状況のようです。ビール業界やエアコンなどは軒並み売上を落とし、特に海水浴場や農産物には大きな影響が出ていると報じられ、景気にとってもマイナス要因が強くなっています。

われわれ業界の経済環境も厳しい状況が続いており、しかも時代の流れが速く、技術革新の変化や規制が次々と押し寄せてきており、情報の重要性が増しています。これら情報を的確にとらえて伝えることが広報に課せられた役割であると思います。広報委員会のみなさんととともに、実のある情報誌となるよう努力して参りますので、ご支援のほどをお願いします。

大村理事長が3期目に入り、新しい正副理事長体制となり、従来の副理事長3人ではとても考えられなかった活発な意見が出され、大変実行力にすぐれた執行部体制になったのではないかと思います。経営にすぐれた由田副理事長が総財務委員会担当、環境一筋の川上副理事長が環境委員会担当、技能教育委員会30年のベテランである八幡副理事長、組合員の減少や不況の影響から厳しい経営を余儀なくされている公害防止協同組合には新しい経営感覚を持たれた間部副理事長が担当され、大村理事長を支える新しい執行部体制となりました。

私が広報委員会を担当するにあたって何をすればよいか、とにかく組合員の方々に見てもらえる広報誌に重点を置いて、毎月、タイトル、テーマを決めて斬新なものを掲載できるようにしていきたいと考えています。特に組合員みなさんに関係があり、興味をもたれるような内容に努めて参りたいと考えております。

先日第1回広報座談会として正副理事長との対談を行い、第2回として同じ執行部である常任理事さんと今後の組合運営について話し合っていきたいと思います。引き続いて第3回として支部長座談会、第4回として次代を担う若手副支部長との座談会など、各号に振り分けてシリーズで掲載していきたいと考えております。また、組合活動の中心となります各委員会活動が重要でありますので各委員会の記事を充実させて、より身近な組合活動として見てもらえるようにしていきたいと考えています。今後、スケジュールを組んで、出来るだけ多くの方々の参加を得て座談会や、意見交換会などを紹介し、紙面の充実を図って参りたいと考えており、組合員皆様のご支援ご協力をお願い申し上げます。

大村理事長日誌



7 月

2 日(水)正副理事長会・理事会
3 日(木)都議会自民党めっき対策議員連
盟懇談会
4 日(金)全鍍連常任理事会(名古屋)
6 日(日)組合親睦ゴルフ大会

7 日(月)事務局・公防協組運営委員会
8 日(火)東京都労働局保険部打合せ
9 日(水)正副理事長会・HP特別委員会
11 日(金)城南連合支部新旧役員会
12 日(土)草間英一氏の叙勲を祝う会
正副理事長会
15 日(火)健保組合監査会
16 日(水)小杉隆元文部大臣セミナー
全鍍連近代化推進委員会
19 日(土)磯部剛氏黄綬褒章受章祝賀会
22 日(火)都議会公明党懇談会
広報正副理事長座談会
23 日(水)東京都中小企業団体中央会オイ
スカーデー(環境団体)参加
24 日(木)健保組合打合せ
25 日(金)健保組合組合会
27 日(日)技能検定実技試験
30 日(水)事務局・健保組合打合せ
厚生年金基金運営委員会

～組合・関連団体行事予定～

9 月 3 日(水)正副理事長会
9 月 5 日(金)第 1 回監事会
9 月 7 日(日)技能検定学科試験
9 月 9 日(火)日本硬質クロム工業会情報
委員会
9 月 11 日(木)表団協セミナー(機械振興)
ホームページ特別委員会
9 月 12 日(金)北海道東北ブロック会議
9 月 18 日(木)正副理事長会、合同役員会
顧問・相談役会
10 月 1 日(水)正副理事長会
10 月 3 日(水)東海北陸ブロック会議

10 月 7 日(火)全鍍連国際委員会
10 月 8 日(水)広報委員会
10 月 9 日(木)全鍍連近代会推進委員会
10 月 17 日(金)訓練校工場見学会
10 月 21 日(火)全鍍連全国めっき技術コ
ンクール審査委員会(総合審査)
10 月 23 日(木)全鍍連広報委員会
10 月 27 日(月)第 4 回技能教育委員会
10 月 28 日(火)全鍍連総務委員会
10 月 29 日(水)全鍍連監事会
11 月 11 日(火)第 2 回監事会
11 月 5 日(水)正副理事長会・理事会

組合員各位

組合HP “組合員専用掲示板” ご利用のお願い ～組合員による、組合員のための、組合員だけの 情報・意見交換の機会の場を！今すぐ登録を～

東京都鍍金工業組合
ホームページ特別委員会
委員長 石川 進造

当組合ホームページ特別委員会では、組合員相互の情報交換や交流の場として、“組合員専用掲示板”を新設いたしました。現在、登録者22名(事業所)の方々にご利用して頂いておりますが、登録者が非常に少ないため、組合員各位にもっとご利用していただきたいと願っております。“組合員専用掲示板”のご利用につきましては、下記、申込み用紙にご記入のうえ FAX 03(3816)6166 にて、組合事務局までお気軽にお申込み下さい。

- ① 1 事業所何名でも登録できます。
- ② 投稿はハンドルネーム（ペンネーム）等ご自由です。
- ③ 登録は、事業所名、本人氏名、メールアドレスを書き、
その後ユーザー名、パスワードを決定しご記入下さい。

＜組合員専用掲示板申込み記載事項＞

メールアドレスwebmaster@tmk.or.jpをクリックして、下記事項を記入するだけです。
または、下記事項を記入後、FAX（3816-6166）でも結構です。

事業所名

ご本人氏名

メールアドレス

ユーザー名

半角英数字を使って、4文字～8文字以内を記入。

例 k o n d o 5文字

パスワード

半角英数字を使って 4文字～8文字以内を記入。

半角英字の大文字、小文字を区別致します。

例 k o n d o と K o n d o は違うパスワードと判断します。

例 大文字 T と 小文字 t

担当 組合事務局 近藤

TEL 03 (3814) 5621 FAX 03 (3816) 6166

広報座談会

正副理事長 委員会運営の抱負語る

東京都鍍金工業組合並びに東京鍍金公害防止協同組合の総代会で新しい組合役員・執行部を選出し副理事長は3名から5名体制となり、各担当委員会が決まった。正副理事長に最近の業界の問題を含めて今後の委員会運営の課題等の抱負をうかがった。(03.7.22)

木村秀利広報委員長 今年は役員改選が行われ、副理事長は3名から5名となり、このほど各担当委員会も決まりましたので、今年度の委員会活動の方向などについて、副理事長の抱負をお聞きます。はじめに大村理事長にご挨拶をお願いします。

大村功作理事長 すでに総代会で組合の基本的な活動方針をお話していますので省かせていただきますが、副理事長の各担当委員会が決まり本格的に動き出していますので何か要望がありましたらお聞かせください。ホームページ特別委員会は特別ということで担当副理事長は置か

ず私が総括として担当していますが、私もホームページは明るくないので、石川委員長、江原副委員長にお任せしていますが、第1回委員会が終わり、みなさん意欲をもって取り組んでいます。

総財務委は基本的に組合運営の安定を
木村広報委員長 それでは総財務委員会からお願いします。

由田猛副理事長(総財務委員会) 今期から総財務委員会を担当しますが、総財務は基本的に事務局運営や予算化並びに組織運営を行います。ここ数年、新しい事務局職員を採用し、専務理事を中心にして安定して良くやって頂いていますので有り難いと思っています。

一番の課題は、組合員が減少してきていますので、どう組合を安定運営していくか、前回シミュレーションを作成し、ここ4～5年どういう方向付けをしていくか、安定運営していくかが課題でしたが、指針が出ていますので、それに沿っ



て具体化していきます。特に予算付けは、それまで事務局が中心となってきましたが、理事長の方針のもと正副理事長の考えにそって予算付けするのが筋であり、小委員会で今年の予算付けから検討して頂きまして、従来の予算 10%を削減しようと、各委員会にもお願いして、実績、目標を掲げて、それに合わせた予算付けが出来、それに沿って運営していきたいと考えています。その他、いろいろな規約があり、その都度時代に即した規約を作らないといけません。以前、梅本前副理事長に規約等の見直しをして頂いて、これが足がかりになって、そのための小委員会を作って、今後は時代に即して見直を進めています。

役員会委員会の出席率に関して内規を作ろうと進めています。退任された時の謝金額なども決めています。まず小委員会にかけて、三役で詰めたものを総財務委員会にかけて、最終的には正副理事長会で決めて頂きますが、そういう手順を踏みながら着実に進めていきたいと考えています。

利益追求が第一目標

間部健太郎副理事長(公防協組) 公防協組の一番の目標は利益を追求することです。その中身は、高収益を期待できる事業と、いまのように低成長の中でも安定収益を図れる事業の2通りに分けて組み合わせたいと考えています。また従来のように業務や営業等の目標管理は大体言いはなしですが、今後は委員会でどれだけ利益を上げたか、評価検証できるものを作りたいと考えています。あくまで現状の延長ではだめで、少し変わったことをやりましょう、新しい顧客を開拓したり、新しい市場に狙いを定めて

成果を上げていくという考えです。当面の目標は利益を上げることですが、これは相当の年月がかかると思います。立ち止まることなく、突き進んでいきたいと思います。

木村広報委員長 業界存続のためにも城南処理センターの維持発展を図って頂きたいと思います。次に訓練校運営ですが、これだけ景気が悪くなると、事業主さんも生徒を派遣しづらくなり、生徒が集まらないという問題が起きてきませんか。

訓練校は基本的に基礎技術を

八幡順一副理事長(技能教育委員会) 基本的に企業が元気でないといけないことはありますので、企業に頑張って頂くことを期待するしかありません。姫野前副理事長の時、先生を評価させて頂くことを行いました。生徒に技術を忠実に教えて頂く講師陣の充実を図っており、今後も続けていきたいと考えています。

木村広報委員長 訓練校は基礎技術を教えるということですが、これだけ技術開発の流れが速い時代に新技術についてはどのように考えていますか。

八幡副理事長 訓練生はいろいろな職場から来ており、また学歴においても、中卒から理系の大学院生もおり、非常に幅が広いので、ある程度基礎的なことに限定せざるを得ないと思います。最新技術が必要なら、先生方が色々な分野のオーソリティですから個々に先生方に聞いて頂くのがベターかと思います。

大村理事長 訓練校は基本的に基礎を教えることをやっているわけで、ハイレベルの勉強をしたい人はそういう学校がありますから、そちらへ行っていただければよいわけです。専門的な技術については別の企画して頂くことになります。

八幡副理事長 例年夏に技能検定を行います、今年は1級の研磨がなくなり、ニッケル・クロムめっきと亜鉛めっき・クロメート処理となっていますが、現実には6価クロメート処理が問題となっており、3価クロメート処理を取り入れていかなければいけないのか、そういう課題を含めて早急に検討していかなければならないと思っています。また治具作りでも半田を使いますが、鉛フリーの現状にある中で適合するかどうか、近々に検討しなければいけないと考えております。

業界の存続をかけた闘いに

木村広報委員長 業界にとって一番重要な環境問題についてお願いします。

川上洋一副理事長(環境委員会) 環境問題は抱負というより規制に対してどう対処するかが最大の問題です。このところ新しい規制が津波のように押し寄せてきます。ホウ素に関しては現実問題として処理技術が確立されてないので確立されるまで暫定基準を延長してもらわなければなりません。特にまずいことに土壤汚染物質として1mg/lの規制となりました。例えば処理しても廃棄場所がなく全く手に負えません。フッ素に関しては先日キレート樹脂の勉強会に出席したところ、ハロゲンキャッチャーと書いてあり、フッ素だけでなく、塩素でも陰イオンは全部吸着してしまい、フッ素の取れる量が限定されます。そういう状況では当分の間、この処理は無理だという気がしました。また最近魚に鉛や水銀が160~170くらい入っていると聞いてびっくりしましたが、そうすると鉛や水銀の規制が厳し過ぎるのではないかと、我々は30年前カドミをやめたが、魚に入っていることは自然界に含まれているということで、漁

業関係者が困っていますが、こういう問題にも対処してまいりたい。土壤汚染に関しても厳しい値が出ており、それをクリアするのは無理です。土壤汚染や排出基準が川下から川上まで同じではなく、用途地域によって規制を変えていただかないとクリアできないのではないかと思います。現在の環境基準で水を作り、窒素もリンもない水に魚が棲めるのか、“水清くして魚棲まず”ではないが、現在の規制はそうなっています。環境基準を初めから見直す必要があるのではないかと。たばこを吸って肺ガンになったという話も余り聞かないし、6価クロムの肺ガン性の問題もおかしいと思う。少し過敏すぎるのではないと思う。

我々は規制値が決まってから慌てて動くが、ニッケルはデータを持っていますが、データの無い物質が短い時間で規制値を決められてしまい、組合の対応が遅れてしまうということで、とにかくデータの収集が大事です。我々業界は規制項目が多過ぎます。環境確保条例の指定物質58のうち、3分の1くらいが入っています。クリーニング店のようにテトラクロロエチレンだけなら対応しやすいが、品目が多過ぎるので処理の難しさがあり、その辺を考慮していかないといけない。また6価クロムフリーといって3価クロムにも6価が検出されます。すずめっきでも鉛が検出され、これには何%未満とか書いてもらわないとトラブルが起きるのではないかと思います。とにかく、業界が存続できるかできないのかが問題であり、業界の存続をかけて闘っていかなければなりません。

木村広報委員長 これからも環境問題は益々厳しさを増してくると思いますが、業界が存続できるよう大変な活動になる

と思いますが、よろしくお願いします。
最後に広報委員会の方向についてお願いします。

シリーズで座談会を

姫野正弘副理事長(広報委員会) 大村理事長3期目ということで、新しい正副理事長体制となり、本当に活発な意見が出て、いままでの副理事長3人ではとても考えられなかった新しい発言が出て、大変良い執行部体制になったのではないかと考えています。6月の新旧歓送迎会を兼ねた第1回広報委員会に出席して木村委員長を中心にまとめた委員会であるという印象を受けましたが、私が担当するにあたって何をすればよいか、とにかく組合員の方々に見てもらえる広報誌に重点を置いて、タイトル、毎月のテーマを決めて斬新なものを掲載できるようにしていきたいと考えています。組合員みなさんに関係があり、興味をもたれるような広報誌でないとなかなか読んでもらえません。本日の正副理事長座談会を第1回として、次に常任理事座談会、常任理事も同じ執行部であり、今後の組合運営をどうするかについて話し合っていきたいと思います。続いて支部長座談会、次期を担う副支部長座談会と、各号に振り分けて掲載していくようにしていきたいと考えています。また、各委員会の記事を出していけばより身近なものとして各委員さんに見てもらえるのではないかと思います。今後、常任理事座談会等のスケジュールを組んでシリーズでやっていきたい。出来るだけ多くの人に参加して座談会、意見交換などを出していけば紙面も充実していくのではないかと思います。

木村広報委員長 いろいろな宿題をいた

だきましたが、委員会みなさんと鋭意努力していきたいと思います。各委員会も議事録しか掲載していないので、もっと詳しく取り上げていこうということです。

大村理事長 各委員会もぜひ紹介していただきたい。ただ紙面が限られているので1人1人の意見を全部載せるのは難しいが、出席委員さんの名前と委員会風景を載せてもらえばいいんじゃないかと思っています。いま6価クロムフリーや鉛フリーがクローズアップされていますが、先日、自動車部品工業会と話し合って、2004年までに規制を実施するなどの話がありましたが、6月30日の日経に、東芝で全製品の有害物質廃止という記事が出て、これは電気メーカー横並びだと思うが、来年、再来年で規制の方向が出揃うと思う。どう対応するかが組合としても大きな課題であり、これは技能教育委員会で勉強会を開いてもらうとか、亜鉛部会が講習会を企画して頂くとか、こうした問題が目前に迫っていますのでこういう問題も取りあげて欲しい。

木村広報委員長 難しい時代に入って広報も多方面に目を向けていかなければなりません。今後とも執行部のお考えにそって努力して行きますので、よろしくご指導をお願いします。時間も経ちましたのでこの辺で座談会を終了させていただきます。

技能検定実技試験実施

東京都鍍金工業組合技能教育委員会(志田和陽委員長)は、東京都職業能力開発協会の委託を受けて7月26(土)、27(日)の両日、めっきセンター地階会場に平成15年度電気めっき技能検定1級、2級、3級の実技試験を実施した。

受検者は1級組合員4名、員外1名の計5名、2級組合員34名、員外18名の計52名、3級組合員1名の合計58名(内欠席2級1名)であった。今回初めて3級試験を実施、また昨年度より受検者は10名多くなっている。

技能教育委員会では試験に先立って、6月16日に検定委員、補佐委員の委嘱、水準会議、実施要領をはじめ、総務、誘導、試料、分析、ニッケル・クロム、亜鉛・クロメート、分析、厚み測定、判定等の業務分担を確認。6月27日に試験場



(試験開始まで待機)



(受 付)



(ニッケルめっき)

設営、7月5日受検者に対する課題説明、7月16日リハーサル及び最終チェックなど準備を経て試験運営に臨んだ。

試験は、まず2階待合室で受検者は着替えなどして試験開始時間まで待機、その間誘導係から注意事項の説明を受けて、9時から3人1組で順次試験に入った。

試験内容は、1級はニッケル・クロム、亜鉛・クロメート、分析（不調液調整）で、今回研磨試験がなくなった。2級はニッケル・クロム、亜鉛・クロメート、分析（中和滴定）、3級はニッケル・クロムめっきである。

今年の受検者は、全般的によく練習してきたことが伺えて、成績も良いのではないかと委員は感想を述べている。

試験初日には東京都能力開発協会・岩城繁典常務理事、東京都産業労働局労働部能力開発支援課技能評価係・住本伸一郎係長が視察、組合本部からは大村理事長はじめ役員が陣中見舞いに訪れ、試験運営に当たる各委員の働きを激励した。



(治具製作)



(分 析)



(陣中見舞い)

都議会公明党と懇談会

東京都鍍金工業組合並びに東京鍍金公害防止協同組合は7月22日(火)午前11時から新宿のモノリス29大岳で都議会公明党議員との懇談会を開催、組合正副理事長が環境規制や土壌汚染問題など東京都への要望をもとにめっき業界の現状を説明し、問題解決へのご理解ご支援をお願いした。

懇談会には、都議会公明党幹事長の石井義修議員、副幹事長の鈴木貫太郎議員、友利春久議員、大木田守議員、藤井一議員、野上純子議員、谷村孝彦議員、創価学会本部庶務局の山田善一次長の8氏、組合から大村功作理事長、姫野正弘副理事長、由田猛副理事長、川上洋一副理事長、間部健太郎副理事長、八幡順一副理事長、環境委員長の菊池忠男常任理事、宮澤裕工組専務理事、小原俊幸協組専務理事が出席した。

はじめに大村理事長は「お忙しい中をご出席を頂き厚くお礼申し上げる。毎年組合の要望を出させて頂いているが、この要望に対して関係部局のご回答を頂き感謝申し上げます。東京は全国のめっき業界に比べて規模が小さく、組合は支援していかなければならない。例年お願いしている環境問題についても50㎡未満の事業所への配慮など、国のレベルの話合いでなく、東京都と組合の関係としてお願いしていきたい。我々めっき業界は全国の最盛期3300社から現在2000社を割るまで減少している。東京は550社で、全国の3分の1強を占めているが、規模が小さく環境規制等に対応出来ないことがあり、そういう問題をお願いしていきたい」と挨拶した。

都議会公明党の石井義修幹事長は「さる2月、組合から要望を頂いた中から関



係2局からの回答を頂いたのでお持ちした。いま大村理事長から話があった国の法律が出来てそれに横並びであることから、50m³未満の事業所がづらい思いをしている。出来れば、次の会合には関係部局を呼んで、私たちが立ち会いのもとで話し合いをさせていただきたい。東京のものの作りの最前線で頑張っている鍍金組合のために私たちも一生懸命バックアップさせて頂きたい。今日の話を契機に、より深いご支援が出来るように頑張ってもらいたい」と挨拶をした。

議員、組合役員が自己紹介を行い、宮澤裕専務理事が配布資料をもとに東京都への要望として、排水規制に関することなど7項目の要点を説明。懇談に入り、組合員の減少問題や土壤汚染問題などについて意見交換するとともに環境問題で組合役員から次のような意見が出された。

○土壤汚染問題について

東京という特徴のある地域のめっき業界の立場で、行政との折衝をしていかなければならない。特に土壤汚染の問題は、我々業者にとって死活問題であり、地価評価がゼロに等しい状況の中で廃業しようにも廃業できない状況である。まして都条例が10月施行以来、土地の評価が全くなくなってしまった。交通違反でも新しい法律が出来た以降に規制を受けるが、それ以前に、何十年もさかのぼって適用するという前例が今までにあったのか、例は悪いが殺人でも15年で時効が成立するのに何十年も経って、先代、先々代がやったことまで現在の人が背負わなければいけないというのは不合理ではないか。景気が上向いてこない現状の中で、経営は苦しくなる一方である。地価がゼロに等しいにもかかわらず同じ固定資産税を払っている。廃業して夜逃げしない

で済むような対策を考えていきたい。

○アンチモニーの規制について

新しくアンチモニーの環境基準が決まり、0.05mg/lで規制される。葛飾支部にはアンチモニー素材の製品を専門にめっきする工場が4社ある。たまにしかアンチモニー製品を扱っていないところは、全体の排水で薄まってしまうが、朝から晩までアンチモニー製品にめっきしているところは、素材から溶け出して簡単には処理できない。

○ホウ素、フッ素の排水規制について

ホウ素、フッ素を処理出来る方法があればすぐにでもやるが、理論値でも12ppm以下にはならない。完全な処理方法がないのにどうすればよいのか、暫定の暫定はないという話であるが、暫定の延長を強くお願いしたい。また、大村理事長、川上副理事長が言われるように全国一律の規制ではなく各地域の特徴に合わせたものに改めて頂きたい。

河川と海域の規制値の違いについて、河川と海域の境はどこかを伺ったところ、最初にできた橋までということで、上流まで橋がなければそこまで海域となる。このように下水処理場の放流が河川、海域というのはほんのわずかな差であり、河川も海域と同様の規制値としていただきたい。

○国の支援について

国は、元気のある企業は支援すると言っているが、東京の組合員はみな元気である。ただ仕事がなく助けてほしいと思っても決算書は元気がない。国が言っている元気とはそういうことで、そういう企業は助けないのかといたい。

最後に議員から、国への要望も直接、各省庁に言いてはどうかなど色々なご指導をいただいて懇談会を終了した。

草間英一氏の叙勲を祝う会盛大に開催

全国鍍金工業組合連合会元会長、東京都鍍金工業組合顧問、(株)三ツ矢社長の草間英一氏は永年の産業振興活動の功績により春の国家褒章において勲五等双光旭日章の栄に浴された。この栄誉をたたえ、共に喜びを分かち合い、「草間英一氏の叙勲を祝う会」(代表発起人：笹野不二夫全国鍍金工業組合連合会会長、発起人：大村功作東京都鍍金工業組合理事長、鈴木喜代寿東北表面処理工業組合理事長、田代政明山梨県鍍金工業組合理事長、友人代表：戸井田啓治戸井田法律事務所長・弁護士、会社代表：草間信二(株)三ツ矢専務取締役)が7月12日(土)午後3時からお台場のホテルグランパシフィックメリディアン・シャトレ パレロワイヤルBCで全国から組合関係者、関連業界代表者、知人友人など267名を招いて盛大に開かれ、草間氏の永年にわたる功績をたたえ、叙勲受章の栄誉を祝福した。

祝賀会は、草間ご夫妻が満場の拍手で迎えられ壇上に着席して始まった。はじめに大村功作東鍍工組理事長が、「草間氏の受章を祝う会にご来賓をはじめ全国から関係者多数のご来席を賜り心からお礼申し上げる。草間氏の功績はご存知の方も多いと思うので東京組合の知られていないことを少し披露させて頂きたい。昭和43年に東京組合の城南連合支部の青年部会が発足し、初代の会長に草間氏が就任した。私もその時に参加させて頂き、35、36年お付き合いさせて頂いている。その思い出に、その時既に草間氏は東京組合理事であり、多忙であったことから青年部会長でつらいことがあったと思う。また、東京組合においても、厳しくなる公害問題に対し、我々めっき業は零細企業なので、廃水処理のフィルタープレスの購入が難しい時期に、城南型のフィルタープレスを開発しようと各メーカーに



(お孫さんから花束贈呈を受けて)

働きかけてコンクールと言うか、草間氏の会社で展示会を開催した。その中から3台を指定し、当時150万から200万していたフィルタープレスを、性能が良くてコンパクトなものを80万円を発売し、その結果、フィルタープレスが各社に普及して廃水処理に役立った。そのほか、当時の公害研究所設立や城南処理センター設立にも設立当初から事業に取り組み、技術、建設、運営に至るまでご尽力を頂いた。いろいろな功績は山ほどあるが、その一端を披露させて頂いた」と開会の挨拶をした。

功績披露は配布資料ももって省略し、発起人を代表して笹野不二夫全鍍連会長は「草間氏を祝う会に全国津々浦々からお集まり頂き厚くお礼申し上げる。草間氏は、昭和50年以来約30年にわたり全鍍連の理事、常任理事、副会長を歴任され、さらに平成5年から2年間会長職を全うされた。現在も理事、常任顧問として全鍍連の活動に全般にわたりご指導頂いている。草間氏が会長をされていた時期は、まだまだ全鍍連そのものも組織化されていない大変な時期であったと思う。経済もバブルが崩壊して不況に突入した時代であった。中小企業近代化促進法に基づく構造改善事業計画の実行に当たっては、業界を一本化にまとめる必要があり大変なご苦勞をされた。その成果が現在の全鍍連に生きている。めっき業界が一丸となっているのも草間氏のご努力の賜物と言っても過言ではない。電気めっきの経営近代化ビジョンの作成に当たり、当時の通商産業省非鉄金属課の指導による電気めっき業の21世紀ビジョン編纂事業など功績は数え上げればきりが無い。一方自分の会社については、社長として陣頭指揮を取り、社運も隆々として見事と申し上げるしかない。このたび勲五等双光旭日章受章の栄に浴されたことは、私ども後輩としても誇りに思う。草間氏には今後とも

益々お元気で全鍍連のご指導をお願いしたい」と挨拶をした。

続いて衆議院議員西川太一郎経済産業副大臣、宇田川芳雄衆議院議員、揖斐敏夫経済産業省技術総括審議官、佐藤光治全鍍連名誉顧問から思い出を含めた挨拶があった。

記念品贈呈は、笹野全鍍連会長、大村東京組合理事長、鈴木喜代壽東北組合理事長、田代政明山梨組合理事長、方孝哲韓国鍍金工業組合代表理事、上村豊四国組合理事長、藤田直人東京組合品川支部長、東京組合城南連合支部葛西康二事務局長、友人を代表して同期生の菊地勲氏から贈られ、お孫さんから花束の贈呈が行われ、「お爺ちゃん、お祖母ちゃんおめでとうございます。これからも頑張ってください」と可愛らしい挨拶があった。

草間氏は「この度全鍍連のご推薦により、図らずも叙勲の栄に浴し、偏に皆様方のご支援の賜物と心から感謝している。また発起人の皆様のご協力によりこのような祝賀会を催して頂き、ご来賓をはじめ全鍍連、機材工業会の役員の皆様方には週末のご多忙の中、多数ご臨席賜り祝賀会を盛り上げて頂き心よりお礼申し上げます。叙勲は70歳以上が対象と聞いているが、余生を鍍金業界の地位向上と発展のため微力ながらお手伝いして行きたいと思う。従前同様ご指導ご鞭撻をお願い申し上げます」と謝辞を述べた。

各界の代表による鏡割りの後、愛知組合・渡邊辰巳全鍍連元会長の乾杯音頭で祝宴に入った。品川氷川神社桐若囃子保存会の獅子舞やタンゴ演奏を聞きながらごやかな宴が続いたあと、鈴木東北組合理事長の中締め、(株)三ツ矢草間信二専務取締役のお礼の言葉、渡邊正勝全鍍連前会長、飯田日出温北海道組合理事長、中島清九州組合理事長による万歳三唱、田代山梨組合理事長の閉会の挨拶で祝賀会を終了した。

9月 あなたの予定表

日	曜	役員会・委員会他	環研集荷(ブロック長)	協 組 集 荷	メ モ
1	月			城東支部	
2	火		大田支部	城北支部	
3	水	正副理事長会・環境委員会		中央支部	
4	木		品川支部・大田支部	目黒・世田谷地区	
5	金			葛飾支部	
6	土				
7	日	技能検定学科試験			
8	月		城南支部	足立支部	
9	火		城西支部		
10	水		城西支部・城北支部	西部支部	
11	木	HP特別委員会			表団協セミナー
12	金		中央支部・本所支部	葛飾支部	北海道東北ブロック会議
13	土				
14	日				
15	月	敬老の日			
16	火			品川地区	
17	水		向島支部	向島支部	
18	木	正副理事長会・合同会・顧問相談役会		本所支部	
19	金		西部支部	葛飾支部	
20	土				
21	日				
22	月			蒲田・大森地区	
23	火	秋分の日			
24	水		城東支部・葛飾支部	城西支部	
25	木				高度熟練技能者伝達式
26	金		葛飾支部	葛飾支部	
27	土				
28	日				
29	月				
30	火		足立支部		

(役員会・委員会は変更する場合がありますので、本部からの通知をご確認ください)

9 月 高等職業訓練校授業案内

授業日(火・金)			授業時間(A:14:00～17:00 B:17:00～20:00 C:17:00～21:20)	
日	曜	時	科 目	内 容(予 定)
2	火	A	銅めっき④ (めっき法)	ピロリン酸銅めっき浴特有の問題、めっき条件、ノーシアンアルカリ浴等。 (株)ハイテクノ 鈴木昭一
		B	後処理① (めっき法)	クロメートの皮膜構成と処理法、代替クロメート皮膜と処理法、耐食性等。 (資)東亜鍍金工場 川上洋一
5	金	A	無電解めっき② (特殊めっき法)	無電解ニッケルめっき皮膜の性質と特徴、めっき作業、浴管理、合金めっき等 鍍金組合訓練校 神戸徳蔵
		D	労働安全法規① (安全衛生)	労働安全衛生法、有機溶剤中毒と特定化学物質等障害予防規則。 (株)ハイテクノ 鈴木昭一
9	火	A	無電解めっき③ (特殊めっき法)	無電解銅、無電解コバルト、その他無電解めっきの構成、廃液処理等。 鍍金組合訓練校 神戸徳蔵
		D	有機溶剤(医学)② (安全衛生)	有機溶剤による健康障害、その予防処置と応急措置、各論。 岡村勝郎、石川辰雄
12	金	A	すず・接合めっき① (めっき法)	すずの性質、すずめっきの特徴、すずめっき浴の種類と酸性浴等。 石原薬品(株)研究部 辻清尊
		D	有機則(環境)③ (安全衛生)	作業環境の測定評価と改善、局所排気装置、急性中毒の原因と防止対策等。 東京都鍍金工業組合環研 志賀孝作
16	火	A	すず・接合めっき② (めっき法)	アルカリ性浴の特長、浴管理法、すずのウィスカー等。 石原薬品(株)研究部 辻清尊
		D	特定化学物質(医学)④ (安全衛生)	特定化学物質による障害の原因、症状、救急措置と対応策等。 岡村勝郎、石川辰雄
19	金	A	すず・接合めっき③ (めっき法)	はんだめっき浴、鉛レスはんだ浴とそのめっき条件等。 【定期試験②】 石原薬品(株)研究部 辻清尊
		D	特化則(環境)⑤ (安全衛生)	特定化学物質による健康障害と防止、環境管理、局所排気装置と点検等。 東京都鍍金工業組合環研 志賀孝作
26	金	A	合金めっき① (めっき法)	原理、単極電位、合金の析出形態、合金めっき共通の諸特性。 キザイ(株) 丸田正敏
		D	保護具⑥ (安全衛生)	特化物作業及び有機溶剤作業の保護具の構造、規格、使用方法、管理等。 東京都鍍金工業組合環研 長嶋政人
30	火	A	合金めっき② (めっき法)	装飾用合金めっきの浴組成とめっき特性等。 キザイ(株) 丸田正敏
		D	作業環境⑦ (安全衛生)	特化物及び有機溶剤の作業環境の測定、評価と改善。 【特化則等試験】 東京都鍍金工業組合環研 長嶋政人

※聴講料は1科目クーポン券3枚、または7,500円です。

東鍍工組・公防協組平成15・16年度役員・委員会構成

理事・監事構成

	城東支部	城西支部	城南支部	品川支部	大田支部
理 事 長			大村 功作		
副理事長	八幡 順一	由田 猛			川上 洋一
専務理事					
常任理事	木下 健次	柏村 一志	木村 秀利	高倉 利守	内藤 雅文
理事・支部長	遠藤 清孝	元井 民夫	中澤 敏明	藤田 直人	志田 和陽
理 事	新井嘉喜雄	小橋 秀一 荏宿 充久	小谷野英勝	原 清一	吉川 進 池谷 純一 池田 潤一
監 事		田中秀和			鈴木 健吾

委員会構成

	副理事長	委員長	副委員長	城東支部	城西支部	城南支部	品川支部
総財務委員会	由田 猛	平野普三雄	池田敏則 小澤栄男	木下健次 遠藤清孝	柏村一志 元井民夫	木村秀利 中澤敏明	高倉利守 藤田直人
広報委員会	姫野正弘	木村 秀利	半田 實 神谷博行	内山雄介	溝口昌範	木村秀利	藤田直人
環境委員会	川上洋一	菊池 忠男	安斎克茂 柏村一志	西野 亨	内田悦美	藤田嘉雄	下田 篤
技能教育委員会	八幡順一	志田 和陽	高倉利守 下平 誠	芹川充公	荏宿充久	若山雅史	菅野勝靖
ホーム・ページ 特別委員会	理事長 大村功作	石川 進造	江原一美 木下健次	嶋村敏美 深谷達志		木村秀利	藤田直人
協組運営委員会		間部健太郎	委員：江原一美、神谷博行、山田英佐夫、小原俊幸				
協組処理委員会		間部健太郎	委員：当該支部長				

名誉顧問・顧問・相談役

	城東支部	城西支部	城南支部	品川支部
名誉顧問・顧問・相談役	(相談役) 梶原信孝 遠藤 清	(顧 問) 小橋秀壽 溝口幸範 (相談役) 板橋利次 戸塚由雄 佐藤雄三 飯島 昭	(相談役) 並木 一	(顧 問) 草間英一 (相談役) 手塚忠大 佐藤二郎 下田幸作 寺田孝一 小倉芳夫



城北支部	中央支部	足立支部	葛飾支部	向島支部	本所支部	西部支部	員 外
	間部健太郎					姫野正弘	
						(工組) (協組)	宮澤 裕 小原俊幸
平野普三雄	下平 誠	小澤栄男	菊池忠男	池田敏則	安斎克茂	半田 實	
篠根健一	小嶋撰郎	永田一雄	神谷博行	石田昌久	山田英佐夫	西原敬一	
今泉好隆	斎藤 功	細井 碧	石川進造 西谷幸一	仲俣雅行	岡本博司	柴 太	
海野吉正			小倉攻一	岩井春治			

大田支部	城北支部	中央支部	足立支部	葛飾支部	向島支部	本所支部	西部支部
内藤雅文 志田和陽	篠根健一	下平 誠 小嶋撰郎	永田一雄	菊池忠男 神谷博行	石田昌久	安斎克茂 山田英佐夫	半田 實 西原敬一
石川貞行	上原裕司	堀江 清	小島一浩	広根淳一	籠利達郎	野田光昭	岡 正典
佐藤富幸	森 勝美	中村建輝	磯村博明	佐藤秀昭	向坪 昭	横山 昇	大内源司
志田和陽	大和田昌宏 田村卓也	石井徹夫	豊田金造	中田充彦 太田幸一	坂井正広	安西健一郎	鈴木清次
			大川和俊	柴田 徹			

大田支部	城北支部	中央支部	足立支部	葛飾支部	向島支部	本所支部	西部支部
(名誉顧問) 吉川弘二 (顧問) 海老名平吉 (相談役) 江原猛二	(相談役) 大和田博 田村哲夫 野上榮一 鈴木康之		(名誉顧問) 瀬田新二 (相談役) 野澤宗市 豊田金司	(顧問) 太田孝一 (相談役) 安良岡一晃	(相談役) 板倉栄造 仁平皓三		(相談役) 吉崎周良 川合誠一 山下陽右

平成 15 年度・16 年度

東京都鍍金工業組合 東京鍍金公害防止協同組合 役員

(担当委員会) [所属支部]

理事長・副理事長・専務理事



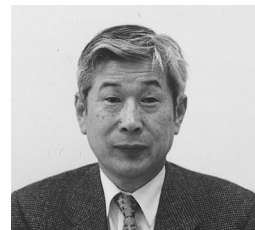
理事長 大村功作
〔城南支部〕



副理事長 姫野正弘
(広報委員会)
〔西部支部〕



副理事長 由田 猛
(総財務委員会)
〔城西支部〕



副理事長 川上洋一
(環境委員会)
〔大田支部〕



副理事長 間部健太郎
(公害防止協同組合)
〔中央支部〕



副理事長 八幡順一
(技能教育委員会)
〔城東支部〕



工組専務理事 宮澤裕
〔員 外〕



協組専務理事 小原俊幸
〔員 外〕

常 任 理 事



木下健次
(ホームページ副委員長)
〔城東支部〕



柏村一志
(環境副委員長)
〔城西支部〕



木村秀利
(広報委員長)
〔城南支部〕



高倉利守
(技能教育副委員長)
〔品川支部〕



内藤雅文
(総財務委員)
〔大田支部〕



平野普三雄
(総財務委員長)
〔城北支部〕



下平 誠
(技能教育副委員長)
〔中央支部〕



小澤栄男
(総財務副委員長)
〔足立支部〕



菊池忠男
(環境委員長)
〔葛飾支部〕



池田敏則
(総財務副委員長)
〔向島支部〕



安斎克茂
(環境副委員長)
〔本所支部〕



半田 實
(広報副委員長)
〔西部支部〕

支部長・理事



遠藤清孝
〔城東支部〕



元井民夫
〔城西支部〕



中澤敏明
〔城南支部〕



藤田直人
(ホームページ 特別委員)
〔品川支部〕



志田和陽
(技能教育委員長)
〔大田支部〕



篠根健一
〔城北支部〕



小嶋摂郎
〔中央支部〕



永田一雄
〔足立支部〕



神谷博行
(広報副委員長)
〔葛飾支部〕



石田昌久
〔向島支部〕



山田英佐夫
〔本所支部〕



西原敬一
〔西部支部〕

理 事



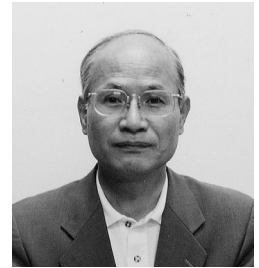
新井嘉喜雄
〔城東支部〕



小橋秀一
〔城西支部〕



苅宿充久
(技能教育委員)
〔城西支部〕



小谷野英勝
〔城南支部〕



原 清一
〔品川支部〕



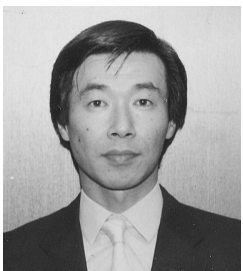
吉川 進
〔大田支部〕



池谷純一
〔大田支部〕



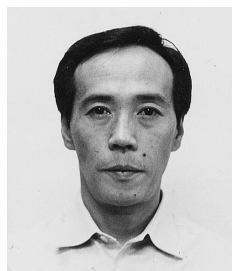
池田潤一
〔大田支部〕



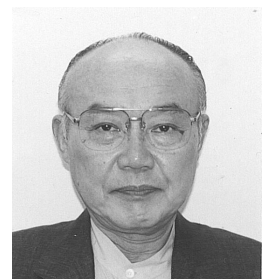
今泉好隆
〔城北支部〕



斎藤 功
〔中央支部〕



細井 碧
〔足立支部〕



石川進造
(ホームページ委員長)
〔葛飾支部〕

理 事



西谷幸一
〔葛飾支部〕



仲俣雅行
〔向島支部〕



岡本博司
〔本所支部〕



柴 太
〔西部支部〕

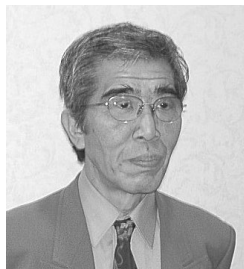
監 事



田中秀和
〔城西支部〕



鈴木健吾
〔大田支部〕



海野吉正
〔城北支部〕



小倉攻一
〔葛飾支部〕



岩井春治
〔向島支部〕

広報委員会委員



内山雄一
〔城東支部〕



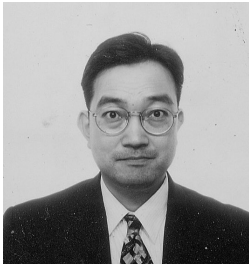
溝口昌範
〔城西支部〕



木村秀利
〔城南支部〕



藤田直人
〔品川支部〕



石川貞行
〔大田支部〕



上原裕司
〔城北支部〕



堀江 清
〔中央支部〕



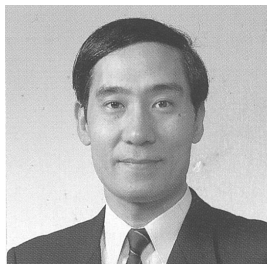
小島一浩
〔足立支部〕



広根淳一
〔葛飾支部〕



籠利達郎
〔向島支部〕



野田光昭
〔本所支部〕



岡 正典
〔西部支部〕

環境委員会委員



西野 亨
〔城東支部〕



内田悦美
〔城西支部〕



藤田嘉雄
〔城南支部〕



下田 篤
〔品川支部〕



佐藤富幸
〔大田支部〕



森 勝美
〔城北支部〕



中村建輝
〔中央支部〕



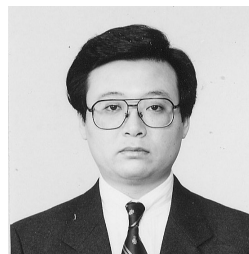
磯村博明
〔足立支部〕



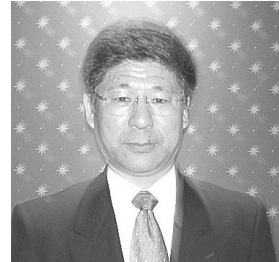
佐藤秀昭
〔葛飾支部〕



向坪 昭
〔向島支部〕



横山 昇
〔本所支部〕



大内源司
〔西部支部〕

技能教育委員会委員



芹川充公
〔城東支部〕



苅宿充久
〔城西支部〕



若山雅史
〔城南支部〕



菅野勝靖
〔品川支部〕



志田和陽
〔大田支部〕



大和田昌宏
〔城北支部〕



田村卓也
〔城北支部〕



石井徹夫
〔中央支部〕



豊田金造
〔足立支部〕



中田充彦
〔葛飾支部〕



太田幸一
〔葛飾支部〕



坂井正広
〔向島支部〕



安西健一郎
〔本所支部〕



鈴木清次
〔西部支部〕

ホームページ特別委員会委員



嶋村敏美
〔城東支部〕



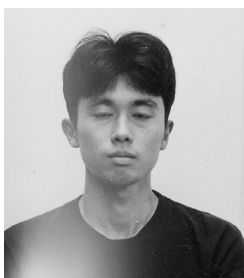
深谷達志
〔城東支部〕



木村秀利
〔城南支部〕



藤田直人
〔品川支部〕



大川和俊
〔足立支部〕

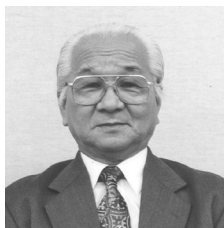


柴田 徹
〔葛飾支部〕

名誉顧問・顧問・相談役



名誉顧問 **吉川弘二**
(株大崎金属)
〔大田支部〕



名誉顧問 **瀬田新二**
(セテック株)
〔足立支部〕



顧問 **海老名平吉**
(エビナ電化工業株)
〔大田支部〕



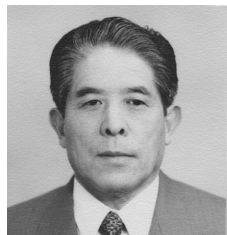
顧問 **小橋秀壽**
(株清化学)
〔城西支部〕



顧問 **草間英一**
(株三ツ矢)
〔品川支部〕



顧問 **溝口幸範**
(株旭電化研究所)
〔城西支部〕



顧問 **太田多一**
(太田鍍金工業所株)
〔葛飾支部〕



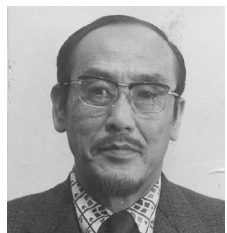
相談役 **江原猛二**
(メイホー株)
〔大田支部〕



相談役 **並木 一**
(有寿 豊)
〔城南支部〕



相談役 **吉崎周良**
(株吉崎メッキ化工所)
〔西部支部〕



相談役 **手塚忠大**
(有不二電化鍍金工業)
〔品川支部〕



相談役 **板倉栄造**
(有板倉鍍金工業所)
〔向島支部〕

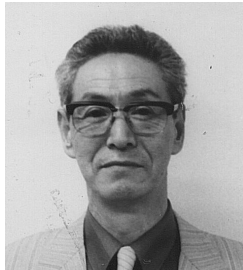
相 談 役



相談役 梶原信孝
((有)松尾鍍金工業所)
〔城東支部〕



相談役 大和田博
((有)大和田鍍金工業所)
〔城北支部〕



相談役 板橋利次
((有)板橋鍍金工業所)
〔城西支部〕



相談役 佐藤二郎
((有)佐藤硬質鍍金工業所)
〔品川支部〕



相談役 野澤宗市
(足立工業(株))
〔足立支部〕



相談役 仁平皓三
(株)仁平鍍金工業所
〔向島支部〕



相談役 田村哲夫
((有)田村化学工業)
〔城北支部〕



相談役 戸塚由雄
(株)瑞 光
〔城西支部〕



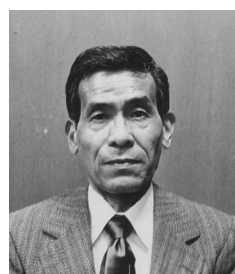
相談役 豊田金司
((有)トヨタ電鍍)
〔足立支部〕



相談役 安良岡一晃
(三晶化学工業(株))
〔葛飾支部〕



相談役 川合誠一
(株)川合理化学工業所
〔西部支部〕



相談役 下田幸作
((有)二幸精鍍研究所)
〔品川支部〕

相 談 役



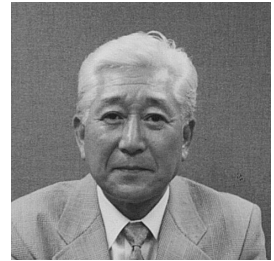
相談役 遠藤 清
(有朝日鍍金工場)
〔城東支部〕



相談役 野上栄一
(野上化学工業(株))
〔城北支部〕



相談役 寺田孝一
(金剛ブロンズ工業(株))
〔品川支部〕



相談役 鈴木康之
(有鈴木鍍金工業所)
〔城北支部〕



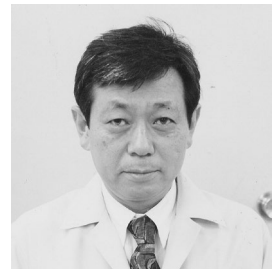
相談役 山下陽右
(山下産業(株))
〔西部支部〕



相談役 佐藤雄三
(株佐藤鍍金工業所)
〔城西支部〕



相談役 飯島 昭
(飯島鍍金工業(有))
〔城西支部〕



相談役 小倉芳夫
(小倉鍍金工業(株))
〔品川支部〕

部会長・青年部会長



菊池忠男
(亜鉛めっき部会長)



荒木 誠
(工業用クロムめっき部会長)



野澤宗市
(D P 部会長)



深田 稔
(連合青年部会長)



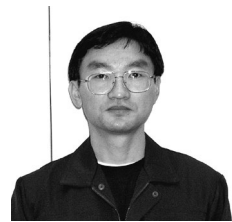
戸塚秀孝
(城西青年部会長)



中澤恵一
(城南青年部会長)



田中貴嗣
(城北青年部会長)



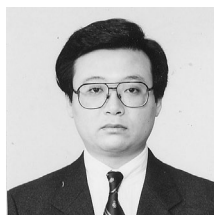
高橋利男
(足立鍍友会会長)



太田幸一
(葛飾青年部会長)



影山雄一
(向島若葉会会長)



横山 昇
(本所墨鍍会会長)



柴 太
(西部五月会会長)

工業組合・協同組合事務局職員

工業組合事務局職員



前列左から宮澤裕専務理事、神戸徳蔵訓練校教頭、志賀孝作環研所長、前田孝総務課長
長嶋政人技術課長、斉藤弘幸環研主任、西須伸夫、後列左から宮部圭典、三嶋若菜、大田
黒祥子、島田良美、近藤寿雄、古橋史江、柴田京子、及川浩司、戸井崎茂

協同組合事務局職員



前列左から大野克博所長、小原俊幸専務理事、新井健二業務係長
後列左から内田義昭、軍司幸江

東鍍工組第6回親睦ゴルフ大会

東京都鍍金工業組合第6回親睦ゴルフ大会が7月6日(日)、茨城県の阿見ゴルフクラブで、各支部組合員と材料協組・機材メーカー等の参加を得て、総勢 109 名で盛大に開催された。

早朝7時半、クラブハウス前のグリーンに集合し記念撮影、続いて高倉利守競技委員長が新ペリアル方式等のルールを説明、早速、イン、アウトコースからそれぞれ4人1組でスタートした。

午後4時、各組のプレーが終了、クラブハウスで成績発表とパーティを行った。遠藤清孝幹事の司会により、大村功作理事長は「早朝より多数の参加を頂き感謝申し上げます。今回6回目になるが、平成10年に第1回を瀬田理事長の時に開催し私が実行委員長を務めたが、以降毎年滞りなく開催し、今回姫野実行委員長に、景気が悪く参加者が少なかったらどうしようなど話をしていましたが109名という大勢の参加者を得て盛

大に開催することができた。天気も心配されたが、プレーしやすい天候となった。私は城南支部に所属し、中にはゴルフの腕自慢もいるが、新ペリアル方式のためか、これまで一度も入賞したことがない。今日は少しでも賞が頂ければ有り難いと思っている。私も入賞したことがなく、仮に良いスコアが出て優勝すると、昨年まで前後賞があつて困るねと話していたが、そういう結果には一度もなったことがない。いずれにしてもお祭りであり、ケガもなく、1日楽しく過ごせたのではないと思う。今日は幹事の遠藤さんと初めて一緒に回り、イン、アウトも同じスコアで楽しく過ごした。こうした会は親睦には一番であり、今後も続けていきたい」と挨拶をした。

姫野正弘実行委員長は「本日は多数の参加を頂き感謝申し上げます。特に幹事のみなさんには交渉等の準備から、1人でも多くの参加者に賞品を差し上げたいと知恵をし



ぼるなどご苦勞を頂いた。また、この時期にしては最高のゴルフ日和になった。いずれにしても景気が厳しい中で、1日くらい楽しいお祭りをやってもいいのではないかと考えて進めさせて頂いた。来年、再来年と、年々盛会にしていきたいと考えており、ご協力をお願い申し上げます」と挨拶をした。

由田猛副理事長の乾杯音頭でパーティに入り、成績発表が行われた。個人戦・団体戦の成績は別掲の通りで、個人戦では品川支部の高倉利守氏(明盛鍍金工業(株))が優勝、コシヒカリ3俵を獲得した。高倉氏は「今日はたまたま運が良かったと思うが、コシヒカリ3俵を頂き家族5人でいただきます」と優勝の喜びを述べた。団体戦では昨年に引き続いて材料組合が優勝した。

優勝者をはじめベスト10の方々、シニア優勝者は材料組合の横尾成郎氏、レディース優勝者は葛飾支部の関根征子氏に賞品が贈られた。

そのほか40位、45位、50位、55位…飛び賞、11位、22位、33位、44位…ぞろ目



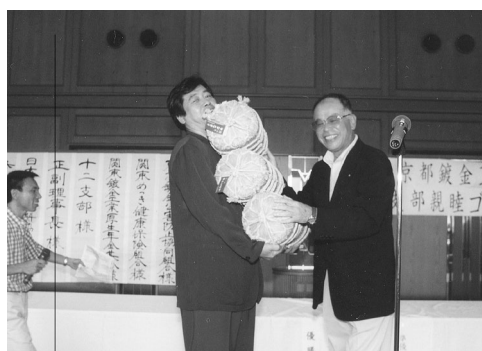
(パーティで挨拶する大村理事長)

賞、正副理事長賞、参加者最高齢の篠崎賢吾氏に元気賞、ベスグロ岡正典氏、ブービーメーカー木村秀利氏、ブービー藤田直人氏、ニアピン、ドラコン、ドラタンなど各賞品が贈られた。最後に各支部長が前に並んで支部運営の抱負を述べ、間部健太郎副理事長の閉会の言葉、川上洋一副理事長の手締めにより、大会を終了した。



第6回親睦ゴルフ大会・個人・団体戦の成績

個人戦順位			GROSS	HDCP	NET
優勝	高倉 利守	品川	84	13.2	70.8
2位	大下 孝義	材料	77	6.0	71.0
3位	大和田昌宏	城北	92	20.4	71.6
4位	斉藤 和久	城北	79	7.2	71.8
5位	高橋 利行	城西	85	13.2	71.8
6位	木村 壽	材料	87	14.4	72.6
7位	岡 正典	西部	75	2.4	72.6
8位	渡辺 健一	城西	86	13.2	72.8
9位	間部健一郎	中央	80	7.2	72.8
10位	倉沢 輝行	城東	85	12.0	73.0
11位	藤田 嘉雄	城南	102	28.8	73.2
12位	中澤 敏明	城南	96	22.8	73.2
13位	大沢 俊孝	大田	89	15.6	73.4
14位	鈴木 厚生	材料	94	20.4	73.6
15位	遠藤 典夫	城東	93	19.2	73.8
16位	深田 稔	向島	93	19.2	73.8
17位	矢野 尚武	葛飾	92	78.0	74.0
18位	新井嘉喜雄	城東	86	12.0	74.0
19位	葛西 康二	大田	91	16.8	74.2
20位	角田 洋久	西部	96	21.6	74.4
21位	狐塚 保之	葛飾	90	15.6	74.4
22位	小倉 攻一	葛飾	83	8.4	74.6
23位	酒巻 正明	本所	89	14.4	74.6
24位	内田 悦美	城西	77	2.4	74.6
25位	横尾 成郎	材料	82	7.2	74.8
26位	高村 昌利	西部	88	13.2	74.8
27位	内藤 隆夫	大田	87	12.0	75.0
28位	田島 一夫	城北	93	18.0	75.0
29位	縄田 敏治	足立	87	12.0	75.0
30位	石川 芳英	足立	87	12.0	75.0
31位	石川 輝夫	葛飾	92	16.8	75.2
32位	近藤 忠治	葛飾	92	16.8	75.2
33位	今泉 好隆	城北	98	22.8	75.2
34位	姫野 正弘	西部	97	21.6	75.4
35位	関根 征子	葛飾	103	27.6	75.4
36位	兼子 雅章	西部	91	15.6	75.4
37位	石川 英孝	葛飾	97	21.6	75.4
38位	太田 彗一	葛飾	96	20.4	75.6
39位	原口 哲洋	足立	84	8.4	75.6
40位	望月 英彦	大田	101	25.2	75.8
41位	安西健一郎	本所	89	13.2	75.8
42位	大村 功作	城南	93	16.8	76.2



(優勝した高倉利守氏)

43位	寺内 倉治	葛飾
44位	並木 秀幸	城南
45位	久保 和克	城西
46位	高橋 憲一	城西
47位	川上 洋一	大田
48位	上村 福子	材料
49位	平野 尚美	城北
50位	金子 俊明	大田
51位	大内 源司	西部
52位	川合 彰	大田
53位	新井 浩二	城西
54位	間部健太郎	中央
55位	遠藤 清孝	城東
56位	石田 昌久	向島
57位	植松 勉	機材
58位	斉藤喜久夫	城南
59位	戸塚 秀孝	城西
60位	海野 和世	城北
61位	姫野 郁江	西部
62位	伏原 明人	城南
63位	篠崎 賢吾	向島
64位	平野普三雄	城北
65位	西原 敬一	西部
66位	佐久間隆太郎	向島
67位	田糲 洋	大田
68位	小西 博文	城南
69位	谷口 光洋	城南
70位	菊地 利夫	城西
71位	滝本 正二	城西
72位	山下 陽右	西部

73位 岩永 正彦 西部
 74位 由田 猛 城西
 75位 間宮 勝 材料
 76位 小澤 雅良 足立
 77位 鈴木 康之 城北
 78位 山田英佐夫 本所
 79位 中田 充彦 葛飾
 80位 小松 康宏 材料
 81位 柏村 一志 城西
 82位 佐藤 明彦 城北
 83位 田中 秀和 城西
 84位 田中井正夫 足立
 85位 磯村 博明 足立
 86位 小山 六郎 材料
 87位 野田 光昭 本所
 88位 関根 利定 葛飾
 89位 久力智恵子 材料
 90位 太田 良江 葛飾
 91位 岩井 孝之 向島
 92位 小島 広光 足立
 93位 豊田 金造 足立
 94位 小澤 栄男 足立
 95位 元井 民夫 城西
 96位 池田 悦昌 西部
 97位 八幡 順一 城東
 98位 永田 一雄 足立

99位 池田 潤一 大田
 100位 広根 淳一 葛飾
 101位 金子 実 機材
 102位 下田 篤 品川
 103位 小澤 陽子 足立
 104位 石田 義勝 城西
 105位 永安 裕之 城西
 106位 海野 吉正 城北
 107位 神谷 博行 葛飾
 108位 藤田 直人 品川
 109位 木村 秀利 城南

B G 岡 正典 西部
 N P 高橋 利行 城西
 田中井正夫 足立
 葛西 康二 大田
 木村 壽 材料
 斉藤喜久夫 城南
 山田英佐夫 本所
 縄田 敏治 足立
 伏原 明人 城南
 D C 斉藤 和久 城北
 海野 和世 城北
 大下 孝義 材料
 岡 正典 西部
 内田 悦美 城西

鈴木 厚生 材料
 縄田 敏治 足立
 D T 並木 秀幸 城南
 遠藤 清孝 城東
 豊田 金造 足立
 藤田 直人 品川
 太田 寿一 葛飾
 太田 良江 葛飾
 シニア優勝
 横尾 成郎 材料
 レディース優勝
 関根 征子 葛飾

団体戦順位
 優勝 日本鍍金材料協組
 2位 城北支部
 3位 城西支部
 4位 西部支部
 5位 城東支部
 6位 葛飾支部
 7位 大田支部
 8位 城南支部
 9位 足立支部
 10位 中央・品川支部
 11位 向島支部
 12位 本所支部

東京都鍍金工業組合親睦ゴルフ大会収支実績報告

収入の部		支出の部	
前回繰越金	49,849 円	パーティ費合計(税込)	355,364 円
会費 5,000 円×109 名	545,000 円	料理2,500 円×75 名分	(187,500 円)
(寄付金)		飲み物	(167,864 円)
東京都鍍金工業組合	50,000 円	賞品代合計(税込)	549,267 円
東京鍍金公害防止協同組合	50,000 円	(株)メッセージ(賞品)	(268,045 円)
関東めっき健康保険組合	10,000 円	(株)井グチ 梅干(参加賞)	(120,000 円)
関東鍍金工業厚生年金基金	10,000 円	川辺食品(株) 梅干(参加賞)	(42,152 円)
日本鍍金材料協同組合	20,000 円	十日町農協コシヒカリ(賞品)	(119,070 円)
各支部より 10,000 円×12 支部	120,000 円	その他合計(税込)	44,405 円
正副理事長 10,000 円×6 名	60,000 円	チップ代(27 組)	(27,000 円)
参加材料商・機材工より寄付	55,000 円	写真代	(10,000 円)
(5,000 円×11 名)		持込 つまみ代	(7,405 円)
罰則より寄付	18,000 円	小計	949,036 円
		次回繰越金	38,813 円
合 計	987,849 円	合 計	987,849 円



電機各社有害物質全廃を加速

(日本工業新聞 03. 7. 1)

電機業界で、製品に含まれる特定有害物質の使用抑制に世界規模で取り組む動きが広がっている。2006 年 7 月以降に EU (欧州連合) で電子・電気機器への有害物質の使用を制限する「RoHS 指令」が発効されることなどに対応するもので、東芝や松下電器産業などが相次ぎ全製品で有害物質の全廃に向けた取り組みを加速する方針を明らかにした。先行各社の対応を火種に同様の動きが一気に広がる可能性が高い。

東芝は 6 月上旬、環境方針を決める「地球環境会議」を開催し、取引先企業への要求事項などを盛り込む「グリーン調達ガイドライン」を改訂。このなかで、05 年 3 月までに全製品で有害物質を代替品に転換する方向を明確化した。

東商墨田支部 産学連携推進へ

(日刊工業新聞 03. 7. 1)

東京商工会議所墨田支部(東京都墨田区、坂田秀男支部会長)は、墨田区と早稲田大学との産学連携を企業側から支援する狙いで新組織「ものづくり委員会」を立ち上げた。

今秋、発足予定のすみだ産学官連携クラブ(区内中小企業数 10 社で構成)で、早大と区との本格連携がスタートするが、その際に問題となる具体的な共同製品開発のあり方、開発した製品の販売法や必要資金負担などについて詳細を詰めるのが目的。

ものづくり委員会の委員長は、早大出身でもある菊川工業の宇津野和俊社長。副委員長はオザキの尾崎和夫社長、松本機械製作の松本清会長、丸和繊維工業の深澤和章会長の 3 人が就任した。墨田支部は工業や建設以外に小売り商業、運輸交通、情報サービス、卸商業、金融の合計

7 分科会があるが、委員会ではものづくりの名称にとらわれずすべての分科会企業にクラブへの加入を呼びかけ、業種ごとに違う産学共同開発の問題点をヒアリングしていく。

神谷理研 水洗槽の水量自動制御

(日刊工業新聞 03. 7. 2)

神谷理研(静岡県浜松市、神谷文吾社長)は静岡県浜松工業技術センター、国立沼津工業高等専門学校と共同で、銀などの貴金属メッキ処理ラインの水洗槽の水量を自動制御するシステムを開発した。排水を 4 割減らせる効果を実証、今後、自社に本格導入し環境対応を進める。03 年度末までにメッキ工程全体の自動制御システムも共同開発する方針。

銀の変色防止剤 水溶性で有機溶媒レス

(日刊工業新聞 03. 7. 10)

大和化成(神戸市兵庫区、奥濱良明社長)は、銀の変色防止剤「ニューダインシルバー S 1」発売した。水溶性で重金属や有機溶媒を含まず、金属表面の接触抵抗やハンダのぬれ性にも影響を与えない。10 倍希釈で価格は 1 kg 当たり 6,800 円。初年度 1 トンの出荷を見込む。銀や銀合金、銀メッキ製品のすべてについて変色防止効果があり、電子部品や装飾品の表面処理に適している。また、メッキ素地の銅にも変色防止効果があり、メッキ厚が薄い場合でも対応可能。0.2%の硫化アンモニウム溶液に、銀メッキ板や鋼板を 30 分程度浸漬しても変色せず、着着銀メッキに関する米 MIL 規格にも適合している。

チタン表面を鏡面状に

(日刊工業新聞 03. 7. 10)

三和産業(山口県下松市、弘中静雄社長)は、アルコール系電解液と超振動技術を組み合わせてチタン表面を鏡面状態まで研磨する電解研磨技術と装置を開発した。研磨したチタン材は歯科など医科用の素材として使用できるとしており、今後、委託加工先を探すとともに、装置を

コンパクト化して商品化を目指す。

02 年度の中小企業総合事業団の委託事業の認定を受け、山口県産業技術センター材料技術部の協力を得ながら開発を進めていた。これまでもチタンの電解研磨の方法はあるが、電解液に毒性が高いものや爆発の危険性があるものが使われることが多い。また電解研磨時に生成するゲル状の酸化皮膜が厚くなり、通電のため手作業でこの皮膜をそぎ取りながら作業を進める必要があった。三和産業と山口県産業技術センターが開発した技術は、安全なエチルアルコールを主体としたアルコール系の電解液を使用する。また酸化皮膜のそぎ取りについても、複数の板バネを利用した低周波振動により自動で行い、電解液、酸化皮膜の問題を同時に解決した。

金型の汚れ除去

(日刊工業新聞 03. 7. 16)

ソマックス(大阪市東成区、富田和巨社長)は、携帯電話やノートパソコンの導光板を量産する金型専用の洗浄機「クリピカエース」を発売した。電気分解と超音波、洗浄液の技術を融合し、シミの除去を可能にした。価格は 130 万円。金型表面には肉眼では見えない微細なシミなどが付く場合があり、シミは成形時に導光板に転写されるので、金型の洗浄は品質確保に重要なファクターとなる。

電気分解によって発生する水素ガスと酸素ガスが金型内部から吹き上げ表面の汚れ、シミを取り除き、超音波洗浄でシミ取りを加速する。洗浄液には水酸化ナトリウムを水に溶かしたアルカリ液を採用した。汚れを取ると同時に液中に電気を通す役割も担う。

導光板の素材であるアクリルやエポキシ樹脂の成分ガスが原因の金型表面の微細なシミは洗浄後、顕微鏡で観察したところ、すべて消えたという。

切削工具の切れ刃再生

(日刊工業新聞 03. 7. 18)

東京大学生産技術研究所の谷泰弘教授らは切削工具の切れ刃を簡単に再生する手法を開発した。母材表面に硬質メッキで製膜して使用、摩耗したら電解剥離して再びメッキをする。再生工程は5分で済むうえ、10 回以上の繰り返しでも使えることを確認、従来に比べて大幅な時間・コスト削減が期待できる。また、軟らかい母材を使って先端をマイクロドリルに加工、メッキで繰り返し再生することで、ドリルの精密取り付けの手間を省くのも有望と見られる。円柱状のものなどにミリメートルオーダーの切り込みを入れる切削工具は、一般に三角柱や四角柱のタングステンカーバイドなどが使われる。角を使って切り込むので、どの角も加工時の高温高压で 0.1mm 以上摩耗すると交換している。

現場で ppb レベル測定

(日本工業新聞 03. 7. 31)

東芝、エイブル、北陸先端科学技術大学院大学などの産学連携による研究グループは、従来型に比べて百倍から 1 千倍の高感度となる PPb(1 PPb は十億分の 1) レベルの環境負荷物質測定をオンサイト(現場)で行うことが可能なバイオセンサーのプロトタイプを開発した。生体の細胞構造を模倣することで、水中に含有する揮発性有機化合物(VOC) や重金属などの有害物質を高感度に測定できるようにした。2~3 年後をめどに実用化する計画だ。

開発したセンサーは、経済産業省の研究プロジェクトである IMS(インテリジェント・マニファクチャリング・システムズ)プログラムの 1 テーマ「生産地域における高度 環境監視システムの研究」の成果。東芝、エイブル、北陸先端科学技術大学院大学のほか、清水建設、東芝 EIC、富山県立大学が参画している。

第 37 回上級表面処理技術講座

－受講生募集－

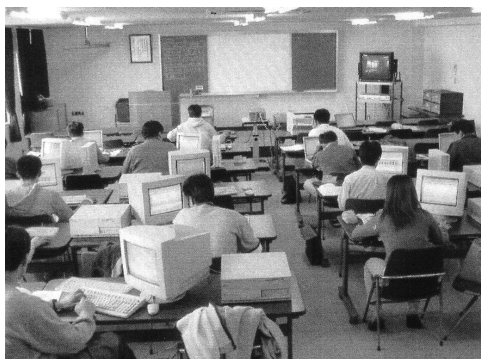
(株)ハイテクノは第 37 回上級表面処理技術講座(11 月開講)の受講生を募集する。

開講以来 37 年目を迎え既に 1500 名以上の修了者を業界に送り出している。最近の講師陣には多くの卒業生を数えるようになっている。開講以来教育方法を工夫しながら改善を重ね、ビデオ、プロジェクター等のAV機器をフルに利用した効果的な授業を行っている。また時代の変遷とともに、表面処理技術の内容も変化し、進歩するので、毎年時代に即応したカリキュラムを編成し続けてきた。一方的な知識のつめ込みだけでなく、各講座単位ごとに行われる確認テスト、グループ討論や修了認定研究発表を通じて幹部にふさわしい人間教育も行っている。

講座は「一般めっきコース」と「回路・実装コース」の 2 コースがあり、「一般めっきコース」では湿式めっき技術を中心とするほか、ドライプレーティング、陽極酸化、工業塗装等の関連表面処理科目も設け、幅広い表面処理技術分野を学ぶことができる。「回路・実装コース」では新しい時代に即した回路・実装技術者の養成を図る。また、工場幹部に必要な工場経営や生産管理、品質管理、環境管理などの管理科目を設けている。それぞれのコースにはじっくり教育を目的とする本科(基礎科目+専門科目)と、忙しい人のための専修科(専門科目のみ)が選択できる。

講座では、普通の大学や講習会とは違って、時間厳守の方針をとり、出欠を厳しく管理している。各授業の終わりには内容確認の目的の簡単なテストを行う。

講師陣は受講生のアンケート回答により受講生の理解度をフィードバックして授業内容や授業方法の改善に努めている。



講座は午前 10 時から午後 5 時で、東北や関西地区からの通学も可能である。受講生によるグループ討論会、懇親会、修了認定研究等を通して発表力、討論能力を養成すると同時に人間関係の形成にも力を入れている。

講座期間は本科が平成 15 年 11 月から 16 年 10 月、専修科は平成 16 年 2 月から同年 10 月まで、原則として木・土曜日の交互開講(AM10:00~PM5:00) 週 1 回制。講堂は京浜島センタービル(大田区京浜島 2-16-1)

費用は本科の入学金がハイテクノ維持会員企業無料、ハイテクノ一般会員及びその他企業 5 万円、本科の受講料は全企業年間 50 万円。専修科の入学金はハイテクノ維持会員企業無料、ハイテクノ一般会員及びその他企業 5 万円、受講料は全企業年間 45 万円。入学金、受講料は 10 回分納方式もある。申込締切は 10 月 20 日。なお同講座には中小企業に対する「キャリア形成促進助成金」制度が適用される。但し本制度が適用されるには能力開発計画書の提出が必要で、詳しくは当地の雇用・能力開発機構(ナビダイヤル 0570-001154) まで。

受講資格は、学科の程度は高専、大学程度なので、大卒(文系を含む)は勿論、高卒程度の知識と意欲があればついて来られるので資格制限はしていない。また所定の合格認定単位数に達し修了認定研究の審査に合格した者に対しては修了認定証が授与される。

申込みは、上級表面処理技術講座事務局
(〒143-0003 大田区京浜島 2-16-1 京浜島
センタービル内)

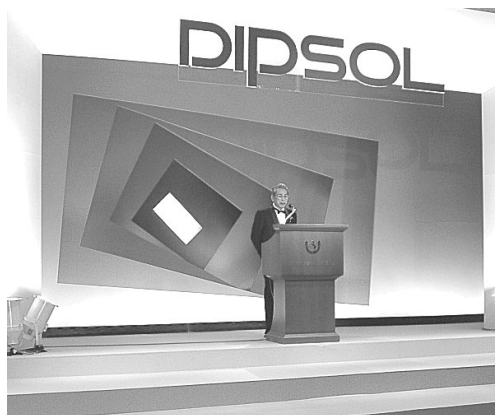
TEL03 (3790) 3174 (代) FAX03 (3799) 0928

ディップソール㈱

創立 50 周年祝宴

薬品メーカーのディップソール㈱(五十嵐英郷代表取締役会長、金森三郎代表取締役社長)は8月8日(金)午前11時半から帝国ホテル本館富士の間で取引先関係者等200名を招いて盛大に創立50周年記念パーティを開催した。

特別なアトラクション等はなく、出席者間でなごやかな歓談が行われた。金森社長は「お忙しい中をご出席頂き厚くお礼申し上げます。昨今の厳しい経済情勢にもかかわらず50周年パーティが開催できたのも偏にみなさんのお力添えによるものと深く感謝している。当社は丁度50年前の1953年8月8日、東栄化学㈱として中央区宝町に設立された。当時、サビと油を同時に落とすディップソールが大きな反響を持って迎えられる、会社は軌道に乗り、1968年にディップソール㈱に社名を変更し今日に至っている。その間、1980年代前半から海外へ広く事業展開し、国内にとどまらず東南アジア、アメリカに進出し、グループ企業に成長した。マレーシア、フィリピン、インドネシアに表面処理工場、マレーシア、インドネシアにアルミダイカスト製造工場、アメリカに本社同様の開発、製造、販売部門がある。韓国、タイには表面処理の販売拠点があり、表面処理の総合企業として、国内外ともに強力な基盤を築いている。国内120名、海外1200名の社員を擁しグループ全体の売上は100億円に達するようになった。私は2000年3月より社長を務めさせて頂いて



いるが、それ以前は営業責任者として東京で3年、大阪で6年を過ごした後、マレーシアのディップソールケミカル社長を務め、経営者の経験を積んできた。特にマレーシアでのめっき工場の経営は毎日が戦いで、当初暇であったが、その後、IBMやNECなどコンピュータ関係の仕事を確保してから忙しくなり、売上も大幅に伸ばすことができ、私にとって大きな自信となった。50年の節目に当たってみなさんにお礼申し上げることができたことを大変光栄に思っている。引き続きみなさんのお役に立てるよう社員一丸となって新製品、新技術の開発に全力を注いでいく所存である。温かいお力添えをお願い申し上げます」と挨拶をした。

訃報

謹んでご冥福をお祈りいたします

福井房枝様(福井電化工業㈱福井順子社長のご母堂)かねてより病氣療養中のところ8月2日死去、77歳。告別式は市川市の昭和セレモニー本八幡儀式殿で行われた。喪主は夫の通祐氏。

青木一三様(向島支部・㈱青木鍍金工業所青木信弘社長のご尊父)8月17日熱中症のため死去、78歳。告別式は20日正午から墨田区京島のスズキ葬儀社で行われた。喪主は信弘氏。

亜鉛めっき部会新役員

東鍍工組亜鉛めっき部会は総会(6.19/伊豆榮)後、会を運営する新役員を次のとおり決めた。

会 長	菊池忠男	光陽鍍金(株)
副会長	半田 實	(有)半田鍍金工業所
副会長	遠藤 清	(有)朝日鍍金工場
副会長	中村昭人	(株)渡辺鍍金工場
副会長	内山 昇	(有)内山鍍金工業所
会 計	海野吉正	海野鍍金工業(株)
監 査	西谷幸一	(有)亜鉛鍍金工業西谷
幹 事	城戸俊雄	城戸鍍金工業所
幹 事	鈴木工匠頭	(有)鈴木鍍金工場
幹 事	斉藤照男	(株)斉藤鍍金電化
幹 事	安斎克茂	(株)朝日メッキ
幹 事	永田吉輝	(株)八神化学工業所
相談役	永田逸雄	(株)梅田鍍金工業所
相談役	川上洋一	(資)東亜鍍金工場
相談役	大田寿一	太田鍍金工業(株)
相談役	葛西康二	(有)中尾鍍金工場
相談役	野上榮一	野上化学工業(株)

訂正

広報7月号の暑中名刺広告の日本プラント工業株式会社の「取締役社長 畠山博之」の名前が間違っていました。正しくは「取締役社長 野村政晴」で、お詫びして訂正します。同社は取締役会で役員が改選され、5月31日付をもって代表取締役社長 畠山博之氏が退社されました。新役員は次の通りです。

代表取締役会長	小室昭進
取締役社長	野村政晴
取締役常務	富本裕一
監査役	田村哲夫

表団協セミナー案内

全国鍍金工業組合連合会、(社)表面技術協会、(社)日本表面処理機材工業会の3団体が運営する表面処理団体協議会(表団協)は、セミナーを開催する。

セミナーの内容は、「めっき工程におけるほう素の低減に関する研究開発」と、「これからの中小企業戦略」の2テーマ。参加希望は、全鍍連までご一報下さい。参加申込書をFAXします。

開催要領

◆日 時：平成15年9月11日(木)13時30分～16時40分

◆場 所：機械振興会館(東京都港区芝公園3-5-8)地下3階研修2号室

(地下鉄日比谷線 神谷町駅から徒歩7分、JR浜松町駅から徒歩15分)

◆講 演：

13:30～15:00 「めっき工程におけるほう素の低減に関する研究開発」
濃縮装置の開発

全鍍連技術顧問 福田 正 氏
光沢剤の開発

全鍍連技術顧問 上谷正明 氏
15:10～16:40 「これからの中小企業戦略」
早稲田大学教授 産業技術創成研究所

友成 真一 氏

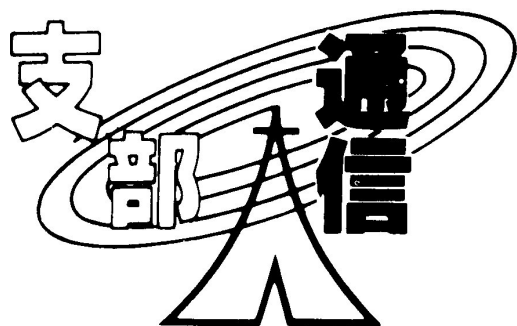
◆参加費：1人 3,000円

◆申込方法：全鍍連までご一報ください。
参加申込書をFAXします。

◆参加費払込方法：

参加申込書に記載していただき、全鍍連までFAXした後、全鍍連まで現金書留でご送付ください。

◆お問合先：全国鍍金工業組合連合会 電話番号 03-3433-3855



■城東支部

納涼会

城東支部(遠藤清孝支部長)は7月17日(木)夕、支部関係者43名が参加してお台場の大江戸温泉物語で納涼会を行った。

午後6時、参加者は錦糸町駅前に集合、借切バスでお台場へ移動した。往路の車中、遠藤清孝支部長が今晚のスケジュールと大江戸温泉物語の利用方法などを案内した。到着後、早速受付して浴場へ。

大江戸温泉物語は、江戸時代の湯屋を

彷彿とさせる天然温泉の大浴場、深山幽谷の景色を眺めながらの露天風呂、桶風呂、サウナなど多彩な湯がある。また、浴衣着のまま楽しめる足湯。建物内には、江戸時代の吉原、深川の町をイメージした食事処「八百八町」、宴会場などの施設があり、参加者は宴会まで各種温泉を楽しんだ。

8時から懇親会が開かれ、遠藤支部長は「私が支部長就任後初めての行事で、多数の参加を頂き感謝申し上げます。八幡支部長とは違った形で進めていきたいと思っており、ご協力をお願い申し上げます」と挨拶。梶原信孝相談役の乾杯音頭で懇親会に入った。なごやかな宴のあと、八幡順一副理事長(前支部長)は「楽しいひとときを設定していただき感謝申し上げます。今後も遠藤支部長には頑張って頂きたい」と述べ、手締めを行い、納涼会を終了した。



■足立支部

区支援施策講習会

足立支部(永田一雄支部長)は、7月2日中曽根会館において、足立区産業振興課課長大高秀明氏を迎え、24名が出席し、足立区の製造業に対する各種の支援施策に関する講習会を開催した。

石川和男副支部長の司会で、「これから、知らないと損をする中小企業に対する足立区の支援策について説明していただく」との挨拶で開会した。続いて、永田支部長が、「支部長になって初めての支部会ということで、少しばかり緊張している。この、たいへんな不況の中、資金繰りなどで苦勞も絶えないかと思うが、今日は大高課長に足立区のいろいろな支援策をお話ししていただく。

また、各社とも支部会に積極的に出席し、いろいろな情報を得て、支部員であるメリットを自分から作り出し、あるいは見いだしてもらいたい」との言葉で、本題に入っていた。

大高氏から、まずはじめに「現在生き残っている企業はむしろ業績はいいのではないかと」の声もあるが、今日は足立区の支援策について説明する。平成15年3月18日に、足立区をはじめとする国や都などの行政機関と区内の関係団体170余の団体会員の参加により、足立区経済活性化推進協議会が発足した。この協議会は区内関係団体と行政が協働し、主に相互の情報交換を行うとともに、区内産業の振興と経済の活性化に寄

与することを目的としている。

つまり、中小企業の経営者の声が直接届くようにと設立されたものであるから、加入希望者は書類を提出してほしい。」続いて、「足立区の支援制度として、まず、足立ブランド普及促進事業というものがある。これは、国内、海外の見本市への出展に対し、足立ブランドの普及促進を図るための助成金である。次に、人材能力開発支援事業として、高度な技術・技能、経営などを学ぶ講習・研修会の参加に対し、費用の一部を助成し、また、区内の産業団体が行う経営、技能・技術の向上を目指した研修・講座に対し、講師謝礼の一部を助成するものである。その次に、経営革新助成として、ISO認証取得助成、技術相談助成、ホームページ作成助成、ITコーディネーター活用助成といったものがある。さらには、中小企業融資については、いろいろな融資制度があるので、相談していただきたい。」

と、融資制度の内容等についての説明があり、講習会は閉会した。(小島一浩)



■葛飾青年部会

6月活動報告

葛飾支部青年部会は、昨年度青年部創立30周年記念式典開催を目標に1年間活動してきました。今年度の活動として勉強会、工場見学など会員がやりたい事の担当を決めて毎月行っていくことになりました。第1回目は6月25日にP R T R法及び環境確保条例についての勉強会を行いました。この勉強会は6月初旬に行われた東京都の講習会をもとにして行われました。

最初にP R T R法、環境確保条例の判定フローチャートから、各事業所がどの様式で報告書を提出するのか判定し、届出の対象となる化学物質を抽出しました。それに基づき代表的な物質の計算方法、記入の仕方を学びました。第1回目の勉強会として時期的に各事業所で行われている事を青年部会として学べた事が大変良かったと思いました。また、今回勉強した事は将来必ず役に立つ事なので自分で更に勉強して理解を深めていきたいと思います。

(山田悦功 (有)山田鍍金工業所)

環研ニュース

7月2, 113成分を分析

直通電話 03-3815-4055

環境科学研究所は、7月中に2, 113成分の分析を行いました。排水問題、作業環境測定等に関して、お困りのことはお気軽にご相談ください。“排水分析はあなたの工場の健康診断です”

1. スラッジ分析数

シアン	クロム	カドミ	鉛	水銀
8	9	4	4	2
ヒ素	その他	前処理		合計
0	7	10		44

2. その他排水分析

SS	COD	ヘキサシ	全窒素
4	1	1	20
全りん	有機溶剤	その他	合計
3	27	85	141

3. クロム酸ミスト測定事業所数

51

4. シアン化水素測定事業所数

23

5. 有機溶剤測定事業所数

41

6. 粉じん測定事業所数

6

7. その他

0

8. 排水分析数

	シアン	クロム	重金属	合 計
城東支部	13(1)	19(1)	35(4)	67(6)
城西支部	31(7)	20(7)	77(21)	138(35)
城南支部	13(2)	13(0)	34(3)	60(5)
品川支部	26(3)	25(2)	72(12)	123(17)
大田支部	38(3)	35(1)	79(12)	152(16)
城北支部	20(4)	32(9)	62(18)	114(31)
中央支部	17(2)	8(3)	60(19)	85(24)
足立支部	23(1)	27(1)	41(2)	91(4)
葛飾支部	44(7)	35(3)	80(8)	159(18)
向島支部	30(2)	17(2)	59(4)	106(8)
本所支部	3(2)	8(3)	14(6)	25(11)
西部支部	19(3)	19(3)	54(8)	92(14)
賛助会員	4(2)	6(2)	18(10)	28(14)
アトサダー	2(2)	3(2)	22(16)	27(20)
合 計	283(41)	277(39)	707(143)	1267(223)

東京都中小企業の景況(7月調査) 東京都産業労働局産業政策部

◎都内中小企業の業況は、当月は▲48(前月▲44)と4ポイント悪化し、前月6ポイントの改善から悪化に転じ、一進一退となった。業種別では比較的好調であった製造業が7ポイント、前月大きく改善した卸売業とサービス業がそれぞれ3ポイント、4ポイント悪化した。前年同月比の売上高も2ポイント悪化し、前月比の売上高も9ポイント悪化した。一方、当月と比べた向こう3ヶ月の業況見通しは▲25と4ポイント改善している。

○都内中小企業全体の業況DI値は、改善傾向が続いていた製造業、前月に持ち直した卸売業、サービス業が軒並み悪化したことから、前月▲44(前々月▲50)と6ポイントの改善から一転して当月▲48と4ポイント悪化した。業種別にみると、製造業は▲44(前月▲37)と7ポイント、卸売業は▲48(同▲45)と3ポイント、サービス業も▲41(同▲37)と4ポイント悪化した。

業種区分ごとでみると、製造業は「機械器具」が横ばいで推移した以外はすべての業種区分で悪化した。卸売業も「機械器具」が5ポイント改善したが他は悪化した。唯一改善が続いた小売業は「衣料・身の回り品」(7ポイント改善)と「日用雑貨」(10ポイント改善)が2ヶ月連続で大きく改善している。サービス業は前月改善した「個人関連サービス」が15ポイントの大幅な悪化となった。

○前年同月比の売上高は▲47(前月▲45)と2ポイント悪化し、低迷状態が続いている。業種別にみても、すべての業種で悪化した。前月比の売上高も▲31(前月▲22)と9ポイント悪化し、売上高の状況は厳しい。

○当月と比べた向こう3ヶ月(7~9月)の業況見通しは▲25(前月▲29)と4ポイント改善し、4月の水準を上回り上向き期待となった。業種別にみると、製造業は▲22(同▲26)と4ポイント、卸売業は▲26(同▲33)と7ポイント、サービス業は▲20(同▲25)と5ポイント改善した。小売業は▲34(同▲34)と横ばいで推移した。

編集後記

都内有数の高級住宅地にある羽澤ビアガーデンでの城南支部納涼会の帰り、JR恵比寿駅から帰途についた。駅ホームの立ち食いそば「あじさい」にパート募集の貼り紙、時給900円と書いてある。品川から横須賀線で千葉方面に向かい、途中、錦糸町駅ホームにも「あじさい」のパート募集の貼り紙、そこは時給850円とあった。その地域の相場に合わせて金額を設定しているのであろうが、わずかな距離の差でこれだけ違うのは驚きである。

また、ビアガーデンに行く途中、家賃18万円の new 築の賃貸マンションがすぐ

売れたという話を聞いて、私が住む市川とは生活レベルが違うことを感じた。(S)

広報8月号

印刷 平成15年8月15日
発行 平成15年8月15日
(毎月1回20日発行 第36巻第8号)
発行所 東京都鍍金工業組合
〒113- 東京鍍金公害防止協同組合
0034 東京都文京区湯島 1-11-10
Tel03(3814)5621 FAX03(3816)6166
発行責任者 大村 功作
編集責任者 木村 秀利
印刷 スザキ企画 Tel047(338)1222
〒272-0802 市川市柏井町 2-1419-4
定価 500円

クラブフジタの利用について

クラブフジタは、藤田観光グループが運営する会員制クラブです。藤田観光のホテル、旅館での宿泊料が最大50%割引となるほか、提携している宿泊施設が会員特別割引でご利用いただけます。

施設の概要 都市型ホテルからリゾートホテル、温泉旅館、リゾートマンション型施設に至るまで施設の内容はバラエティーに富んでいます。お手頃な金額で利用できる施設が数多くありますので、保養以外にも会社での出張や宴会など幅広くご利用ください。

利用施設・利用料金(例) 利用施設は、当組合の契約宿泊数(年間60泊(室))に制限がある施設と無制限の施設に区分されています。

・会員割引施設(宿泊制限あり)

7シントンホテル、7シントンホテルプラザ、椿山荘、小涌園など117施設

・箱根ホテル小涌園 3,500円～



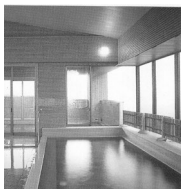
・東京ベイ有明7シントンホテル 3,440円～



・提携割引施設(宿泊制限なし)

リゾートホテル、旅館など109施設

・伊豆の湯荘 8,700円～



・リゾートマンション型施設(宿泊制限なし)

ウイスタリアンライフクラブなど7施設

・ウェルテの森(箱根) 4,000円～



全施設の料金表・ジョイフルサービスの案内・空室状況表が24時間インターネットで確認できます。

<http://www.club-fujita.co.jp>